

□要請番号 (JL04522A13)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モンゴル	H131 栄養士		個別	新規	2年	・2022/4・2023/1・ 2023/2・2023/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育・科学省

2) 配属機関名 (日本語)

国立医科大学付属モンゴル日本病院

3) 任地 (ウランバートル市) JICA事務所の所在地 (ウランバートル市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩で約0.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

モンゴル国立医科大学付属病院に位置付けられる同院は、高水準の運営管理及び質の高い医療サービスの提供を目的に、日本政府の無償資金協力事業によって整備された(2019年開院、2020年入院開始)。同院は、モンゴル国初の教育病院として機能し、周辺住民約7.5万人の医療を担っている。現在JICA技術協力プロジェクト(特記事項参照)が実施中であり、日本式の患者中心の患者に寄り添う医療サービスの導入・提供を目指している。内科、外科、小児科、救急科、リハビリ科、循環器科、泌尿器科等、全28科が設置されており、病床数166床、職員数520名、年間予算約10億円。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同院では病院食や患者に対する食事指導等において、日本式の患者中心の患者に寄り添うサービスの提供が求められている。しかし、同院の栄養士は、院内の病院食や食事指導を任せているものの日本の手法を知らない。このような背景から、病院食献立立案(カロリー計算を含む)や厨房衛生管理、食事指導等において、日本の知見を伝え、栄養士や調理師と共に日本式医療サービスの導入に取り組める隊員の派遣要請が出された。隊員派遣により病院食献立が豊富になり、また患者に分かりやすい食事指導が行えるようになることが期待される。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 病院食について日本の知見を伝え、調理法や形状を工夫し、適切な病院食献立を立案する。
- 厨房の衛生管理について指導する。
- 同僚と共に患者へ食事指導を行い、その指導法を伝授する。

※2022年1月現在、入院患者約50名、病院食は疾患に合わせ7種類作っている。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

机、本棚、厨房(日本の総合病院における一般的な調理器材は整備されている)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先の同僚:

- ・栄養士(女性、20代、実務経験7年、首都公立病院勤務時に韓国人栄養士ボランティアに指導を受けた経験有)
- ・調理師8名(20代~50代、実務経験2年~18年)

活動対象者: 同僚及び患者

5) 活動使用言語

モンゴル語

6) 生活使用言語

モンゴル語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)又はモンゴル語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]： (栄養士)

[学歴]： (大卒) 備考：高い専門知識が必要なため

[性別]： () 備考：

[経験]： (実務経験) 3年以上 備考：経験に基づく指導が必要

[参考情報]：

- ・管理栄養士
- ・病院での実務経験3年以上

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]： (ステップ気候) 気温： (-30~30°C位)

[電気]： (安定)

[通信]： (インターネット可 電話可)

[水源]： (安定)

【特記事項】

*日常会話レベルのモンゴル語が活動上必要となるため、現地語学訓練を実施予定である。

- ・「モンゴル学校給食導入支援プロジェクト」(2021~2025)
- ・技術協力プロジェクト「日本モンゴル教育病院運営管理及び医療サービス提供の体制確立プロジェクト」(2017~2022年)

【類似職種】